

防災人材の育成に係る研修支援業務公募型プロポーザル選定委員会議事録（議事要旨）

項 目	内 容
1	日 時 令和6年3月19日13時から13時45分まで
2	場 所 広島県危機管理監内（広島県庁北館4階）
3	出席委員 尾崎委員長、山本委員、佐藤委員、田中委員、東委員
4	議 題 防災人材の育成に係る研修支援業務公募型プロポーザル審査会
5	担当部署 広島県危機管理監危機管理課
6	開催方法 ① 参集（提案者はWeb会議システムを用いて参加） 2 持ち回り
7	<p>議事内容</p> <p>1 審査方法 提案された企画提案をもとにプレゼンテーションを行い、選定委員会において審査の上、最も高い得点の提案者を最優秀提案者として選定した。</p> <p>2 審査結果 (1) 提案者 A社：株式会社サイエンスクラフト (2) 審査対象者の評価値 審査対象者の評価値については、別紙「公募型プロポーザル結果一覧」及び「評価基準に基づく評価項目別の総合値」のとおり。 (3) 最優秀提案者及び選定理由 ア 最優秀提案者 株式会社サイエンスクラフト イ 選定理由 【基本方針】 ・「県、市町職員を対象とした研修の実施により、災害対応に係る基礎的な知識の習得と災害対応力の向上を図る」こと及び「県、市町が連携しながら危機管理分野の中核となり得る専門人材を全市町に蓄積していく」ことという方針が理解できている。 【提案内容】 ・基礎的研修で災害対応活動の前提となる基礎知識等の習得を目指し、専門的研修で実践的な能力の習得を目指す研修内容が目的や目標に沿った構成となっている。 ・能登半島地震を踏まえた内容とすることや県職員が研修を担当できるようにしていくための標準的な研修資料を作成すること等、優れた提案内容となっている。 【業務の監理体制・制作体制】 ・責任者、役割分担等が具体的に示され、県の要請に応じて即時の対応ができる体制となっている。 【業務実績】 ・過去の業務実績に照らして、経験や知見が豊富である。</p>

3 質疑応答

(委員) 能登半島地震踏まえた提案やカリキュラムのテーマ、県職員が講師となること等、全体として良い提案であるが、講師について、県職員が担当のものが多く感じる。また、講師として、現場経験の豊富な方や気象情報会社の職員を選定する等、講師選定を柔軟に行えないか。

(A社) 継続的な研修に繋げるため、県職員を多く含めていたが、講師選定において、気象アドバイザーや報道関係の講師等も含めて調整していきたい。

(委員) 令和4、5年度と2年間研修を実施してきて、一定の成果は出ていると感じている。今後のグレードアップの観点から、実践的なもの(研修ではなく訓練のようなもの)を取り込む等、災害対応の実際をイメージできるような内容を組み込めないか。

(A社) 学術的な知識を習得することも大事だが、実践的に自分が何をすべきか等を多く組み込むことを想定し、研修の内容を検討したい。

(委員) フィールドワーク等、研修のバリエーションを増やすという意味で、様々な形での研修の提案いただきたい。

(A社) ぜひとも提案したい。現場での学習や伝承館の視察、避難所となる施設で避難所運営の理解を深める等、ご提案していきたい。

(委員) 専門研修の対象者拡大という観点で、他部局・関係機関との連携ができていない課題がある。そのような状況の打破に繋がるような講師を提案するようなことは可能か。

(A社) 提案する。

(委員) 災害対応に係る心構えや平常心を保つような内容の講義をするような講師の提案は可能か。

(A社) 被災者への向き合い方や災害対応に向き合うこと等の分野の先生を提案する。

-以上-